

業務用建物床面積の推移

平成 21 年度の業務用建物床面積は 18 億 3,283 万 m²と推計された。伸び率は平成 20 年度の前年度比 1.3% 増を下回る前年度比 0.8% 増となつた。

「事務所ビル」の床面積は 4 億 7,473 万 m²で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比 25.9% を占める。伸び率は前年度比 0.7% 増となり、前年度（同 1.2% 増）を下回つた。事務所ビル全体の約 8 割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積は、前年度比 1.1% 増と、この業種の中で最も高い伸び率となり、堅調に推移している。

「卸・小売業」の床面積は 4 億 6,507 万 m²で、全体の 25.4% を占める。伸び率は前年度比 1.2% 増で前年度（同 2.3% 増）を下回つた。内訳を見ると、卸・小売業の約 8 割を占める非木造の店舗は、同 1.4% 増と前年度（同 2.9% 増）を下回つたが、引き続き増加。一方で、木造は併用住宅、店舗とともにここ数年の傾向どおり、伸び率はそれぞれマイナス（同 0.6% 減）、横ばい（同 0.1% 増）となつた。

「学校・試験研究機関」の床面積は 3 億 6,253 万 m²で、全体の 19.8% を占める。伸び率は前年度比 0.4% 増と前年度（同 0.1% 増）を上回つた。内訳を見ると、大学が前年度比 2.2% 増とこの業種の中で堅調に増加している。一方、短期大学（同 3.1% 減）、高等学校（同 0.2% 減）、試験研究機関（国有等）（同 0.9% 減）の減少傾向が続いている。

その他の 5 業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比 1.9% 増、「その他サービス業」は同 1.2% 増と堅調な増加を続けている。一方で「飲食店」は同 0.6% 増、「ホテル・旅館」は同 0.2% 増、「劇場・娯楽場」は同 0.3% 増と低い伸びとなつた。



